

学校だより

岡山市立平井小学校

令和6年3月14日

<http://www.city-okayama.ed.jp/~hirais/>

平井小のホームページで「学校だより」をカラーで見ることができます。

学校教育目標:「明日を楽しみにできる学校」

3月4日の全校朝会校長の話

「話は耳と目と心で」

昨日、3月3日はおひな祭りの日でしたね。そして、耳の日でもありました。3という字は耳の形に似ているでしょう。そして、3は三つとも読むので3月3日は「みみ」と読むこともできます。耳の日だったので今日は耳に関係したお話をしましょう。

「聞く」という字は「きく」と読む字です。この字の中には、耳という字が入っています。話を耳で聞くからですね。では、残った周りの部分は何という字でしょう。そうです。門という字です。門には入り口という意味があります。この「聞く」という字は、人の言葉や音などが耳から入ってくる様子を表しています。

では、人の話を聞く時に大切なのは耳以外に何があると思いますか。そうですね。「目」です。お話を「目で聞く」というのは、話している人や話をしている人が用意した資料を見ながら聞くということです。

では、「聴く」という字も「きく」と読みます。この漢字は、今言った「耳」と「目」以外にも「心」という漢字が入っていますね。「心を働かせて聴く」とってどういうこと？それは、先生やお友達のお話を、自分の考えと比べながら聴くことです。「自分もそう思うなあ。」とか「自分の考えと少し違うなあ。」とか「自分と考えは同じだけれど理由が違うなあ」とか「どうしてなのかなあ」とか「〇〇さんの考えのこの部分には『なるほど』と思った」などと心を働かせながら聞くことです。ちょっと意識して聴くだけで、自分の考えを深めたり変えたりすることができます。たったそれだけのことでどんどんかしくなっていくのです。

今日は耳の日に関して、「聴く」ということについてお話ししました。

心を働かせて聴いてくれて「ありがとう」。

これで校長先生のお話を終わります

学校をよりよくする取り組み(平井小キャラクター募集)

学校をより良くする取り組みとして、運営委員会が平井小学校のシンボルを全校から募集しました。たくさんの応募作品の中から10作品を選び、投票の結果、平井小のシンボル(右イラスト)が決まりました。このシンボルには「人を大切に」「体と心をきたえ」「生き生きと学ぶ」という平井小の3つの重点目標を守りたい」という作者の気持ちが込められているそうです。様々な場面でこのシンボルに活躍してもらいたいと思います。決まったシンボルをもとに全校で「ちぎり絵」を作成しました。本年度中は、昇降口に貼っています。



能登半島地震募金

世界の人が幸せになることを目的に、運営委員会が2学期にユニセフ募金を行いました。その経験を生かして、能登半島地震の募金活動に取り組みました。誰かの人の役に立とうと行動に移す姿に頼もしさを感じました。今回もたくさんのお友達が募金に協力していました。



大谷選手のグローブでキャッチボール

メジャーリーガーの大谷選手から寄贈されたグローブの活用の仕方を体育委員会が考え、学年ごとに大谷グローブを使ってキャッチボールをするイベントを企画しました。1年生から6年生までの希望者が楽しそうに大谷グローブを手にはめてキャッチボールを楽しんでいました。



スマイルコンサート

本校の「スマイルバンド」は、平井学区の地域・保護者の皆さんとともに歩んできた金管バンドです。学校の行事だけでなく、地域の行事や市内のコンサートにも出場し、練習の成果を発揮しています。2月24日（土）には、本校体育館にて「スマイルコンサート」が開催されました。6年生にとっては大きな節目のコンサートです。当日は、ご家族の方や地域の方やお友達が大量来てくださって温かい拍手の中、素敵な演奏を聴かせてくれました。

6年生を送る会

3月7日（木）、6年生を送る会が4年ぶりに体育館で行われました。それぞれの学年の工夫された出し物で1～5年生のみんなの6年生への感謝の気持ちが十分に伝わりました。6年生からもお礼の出し物がありました。下級生への温かいメッセージが込められていました。5年生を中心に企画・運営が行われ、心のこもった温かい素晴らしい送る会でした。5年生をはじめ、全校の皆さん本当にありがとう。



PTA役員のみなさん

1年間ありがとうございました

P T A 執行部の方をはじめ、役員の皆様には、今年度も役員選出をはじめ、夜間補導や平井まつりの出店等にご協力いただきありがとうございました。たいへんお世話になりました。役員の皆様の温かいご支援・ご協力に心から感謝いたします。

来年度もP T A 役員の皆様にはたいへんお世話になりますが、子どもたちのために協力しながら教育活動が展開できますよう、引き続きご理解・ご支援いただきますようどうぞよろしくお願いいたします。